

ドリームハロー 組替キット

組立要領書

| | |
|-----------|------------------------------|
| 製品コード | K29259 |
| 型 式 | HR20-1S0 |
| 適応ドリームハロー | NS20タイプ NR20タイプ |
| 組替後の型式 | NS1820～2420J NR1820～3120J |

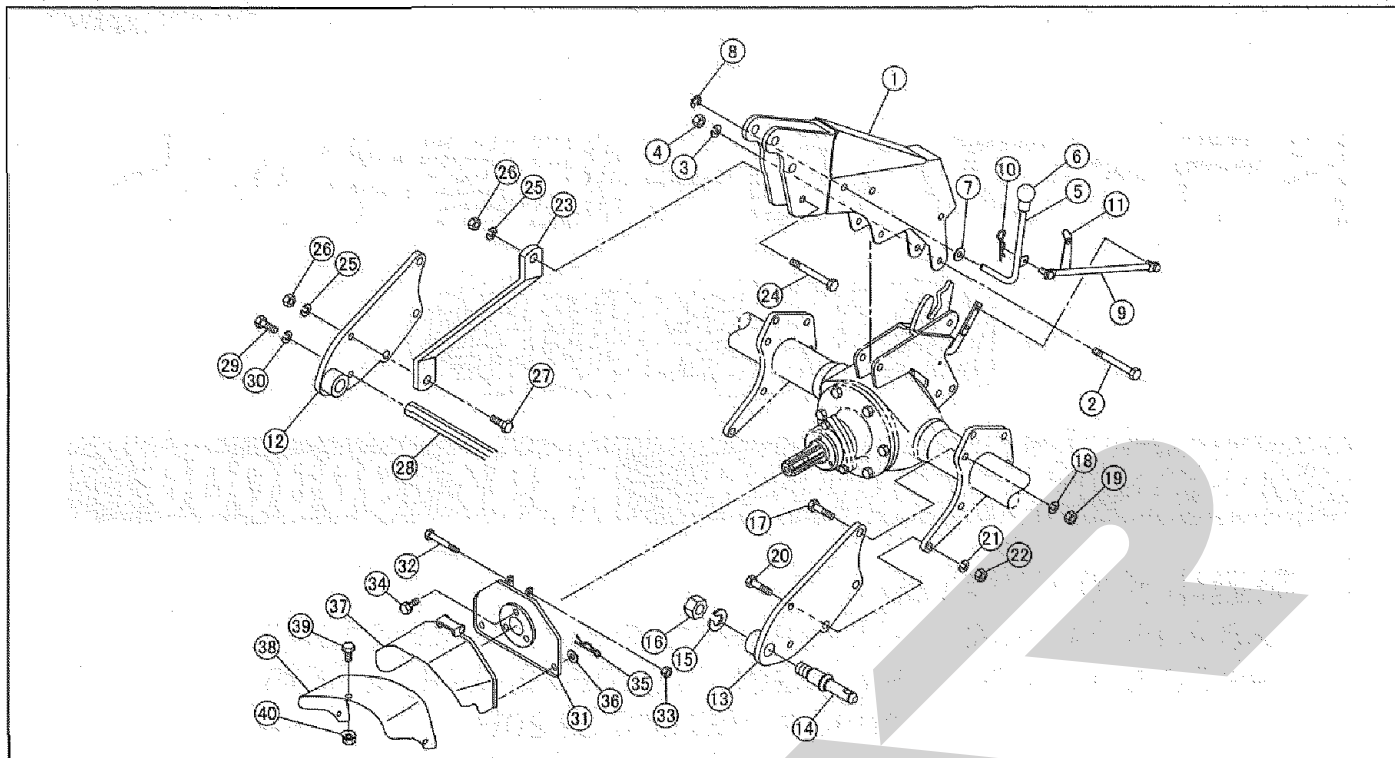
この組替キットを安全に正しく組付けてお使いいただくために、必ずこの組立要領書をお読みください。
●間違えた組付けをすると、事故を引き起こすおそれがあります。
●お読みになった後は、ドライブハローの取扱説明書と一緒に必ず製品の近くに保管し、必要になったときに読めるようにしてください。

本製品の使用目的

- この組替キットは、ドライブハローのトラクタに装着するヒッチ部分を、それぞれのトラクタに装着できるように組替えるための部品類です。使用目的以外の改造には決して使用しないでください。
- 組替キットは、決められたトラクタ型式とドライブハローの型式に合うように設計してあります。該当する型式以外での使用はしないでください。

安全に作業するために

- トラクタの取扱説明書「3点リンクの規格」「ロータリーの取付け・取外しの項をよく読んでください。
- ドライブハローの取扱説明書をよく読んでください。
- 組替キットの組付けをするときは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- トラクタのまわりや作業機との間に人が入らないようにしてください。
- 組付けがすんだら、適正な工具を使い確実にボルト・ナット類を締め付けてください。守らないと傷害事故や機械の損傷につながります。



組付けのしかた

⚠ 注意

- 組替キットの組付けは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
 - 組付けがすんだら、適正な工具を使い確実にボルト・ナット類を締め付けてください。
- 守らないとケガや機械の損傷の原因になります。

1 組付けの準備

- (1) ドライブハローにスタンドを取付けます。
- (2) 土引きレバーを「土引き」側へ倒し、レーキを土引き状態で固定します。

2 マストの組付け

- (1) ハンドルの上の穴と、⑨連結ロッドを頭付ピンで止めます。
- (2) ①マストを、ボルト2本で組付けます。

- (3) ⑤土引きレバーに、割ピンと平座金を入れ、マストに差し込みます。
- (4) 反対側に平座金を入れ、割ピンで止めます。
- (5) 連結ロッドと土引きレバーを頭付ピンで止めます。

3 ヒッチアームの組付け

- (1) ⑫ヒッチアームL、⑬ヒッチアームRをドライブハロー本体へ、⑰ボルト2本と、⑳ボルトで組付けます。
- ヒッチアームの左右を間違えないようにしてください。

4 入力軸カバーの組付け

- (1) ⑳入力軸カバーを、㉔カバー固定板とボルト3本を使い、止めます。

| No. | 部品番号 | 部品名 | 数量 |
|-----|-------------|---------------|----|
| 1 | F897 116000 | マスト (1 S) | 1 |
| 2 | 0310 112080 | ボルト M12X80 7T | 2 |
| 3 | 0931 012000 | ばね座金 M12 | 2 |
| 4 | 0410 012001 | ナット M12 | 2 |
| 5 | F782 199000 | ハンドル S | 1 |
| 6 | 4647 183000 | 作業クラッチニギリ | 1 |
| 7 | 0930 012002 | 平座金並丸 M12 | 1 |
| 8 | 0800 300010 | E形止め輪 E-10 | 1 |
| 9 | F782 200000 | ロット S | 1 |
| 10 | 0832 200008 | Rピン A-8 | 2 |
| 11 | 2210 218000 | リング | 1 |
| 12 | 4647 227000 | ヒッチアームL | 1 |
| 13 | 4647 228000 | ヒッチアームR | 1 |
| 14 | 5401 112001 | ローアピン S | 2 |
| 15 | 0931 024000 | ばね座金 M24 | 2 |

| No. | 部品番号 | 部品名 | 数量 |
|-----|-------------|----------------|----|
| 16 | 0421 024001 | 小形ナット M24X1.5 | 2 |
| 17 | 2283 114000 | リーマボルト A | 4 |
| 18 | 0931 016000 | ばね座金 M16 | 4 |
| 19 | 0410 016001 | ナット M16 | 4 |
| 20 | 0310 112045 | ボルト M12X45 7T | 2 |
| 21 | 0931 012000 | ばね座金 M12 | 2 |
| 22 | 0410 012001 | ナット M12 | 2 |
| 23 | 4647 226000 | ステー | 2 |
| 24 | 0310 112110 | ボルト M12X110 7T | 1 |
| 25 | 0931 012000 | ばね座金 M12 | 3 |
| 26 | 0410 012001 | ナット M12 | 3 |
| 27 | 0310 112040 | ボルト M12X40 7T | 2 |
| 28 | 4647 229000 | 連結ロット | 1 |
| 29 | 0310 112035 | ボルト M12X35 7T | 2 |
| 30 | 0931 012000 | ばね座金 M12 | 2 |

| No. | 部品番号 | 部品名 | 数量 |
|-----|-------------|--------------|----|
| 31 | 4647 216000 | カバー固定板 | 1 |
| 32 | 0320 008070 | 小形ボルト M8X70 | 1 |
| 33 | 0402 008000 | 小形センターロックナット | 1 |
| 34 | 0326 008014 | ばね座金付小形ボルト | 3 |
| 35 | 0832 200309 | ローターピン 20-9 | 1 |
| 36 | 0920 010000 | Oリングワッシャ | 1 |
| 37 | A115 159000 | 入力軸カバー1 | 1 |
| 38 | A115 160000 | 延長カバー | 1 |
| 39 | 0320 008014 | 小形ボルト M8X14 | 3 |
| 40 | 0490 008004 | さらばね付小形ナット | 3 |

トラクタへの装着

⚠ 警告

- ドライブハローの装着は、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
 - トラクタのまわりやドライブハローとの間に人が入らないようにしてください。
 - ドライブハローの下へもぐったり、足を入れたりしないでください。
- 守らないと死亡事故や傷害事故につながります。

- ドライブハローの装着は、トラクタ付属のロータリーと同じ方法です。トラクタ取扱説明書の「ロータリーの取付け・取外し」の項を参照してください。
- トラクタ付属のロータリーのカプラ（別名フレーム・ヒッチ）、およびジョイントを兼用でドライブハローにも使用します。
- トラクタの型式、および3点リンクの規格ごとに装着の方法、各部名称は異なります。ここでは一般的な説明をします。

- 1 カプラ（フレーム・ヒッチ）のハンドルを操作し、ロータリーを外します。
- 2 トラクタをドライブハローの中心に合わせ、まっすぐバックします。
- 3 トラクタの油圧を下げて、カプラのトップフックをドライブハローのトップピンの下へくぐらせます。トラクタとドライブハローの中心が合うまで繰り返してください。
- 4 ゆっくりトラクタの油圧を上げて、トップフックでトップピンをすくい上げます。ドライブハローのローピンがカプラに入ります。
- 5 ハンドルを操作し、フックで固定します。必ずストッパーをかけ、ロックします。

補足

- フックが当たったり、ジョイントが入らない場合は、トラクタの油圧を下げてドライブハローを外し、始めからやり直してください。
- ドライブハローが左右に傾いているときは、トラクタの右側リフトロッドの長さを調節し、ドライブハローの傾きにカプラの傾きを合わせてから装着してください。

- 6 フックがストッパーで確実にロックされているか、必ず確認してください。

⚠ 注意

- 装着・取外しの時以外は、必ずハンドルストッパーをかけ、ハンドルをロックしてください。守らないと誤作動でドライブハローが外れ、機械の損傷や傷害事故の原因になります。

トラクタからの取外し

⚠ 警告

- ドライブハローの取外しは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
 - 取外すときは、スタンドを取付けてください。
 - トラクタのまわりやドライブハローとの間に人が入らないようにしてください。
 - ドライブハローの下へもぐったり、足を入れたりしないでください。
- 守らないと死亡事故や傷害事故につながります。

⚠ 注意

- トラクタのPTO変速レバーを「中立」の位置にし、取外してください。守らないと誤操作でPTO軸が回り傷害事故につながります。

- 1 ドライブハローのスタンドを下げ、リンチピンで固定します。
- 2 ハンドルストッパーを解除します。
- 3 カプラ（フレーム・ヒッチ）のハンドルを操作し、フックを解除します。
- 4 ドライブハローをゆっくり下げます。
- 5 カプラからローピンが抜け、トップピンからトップフックが外れたのを確認して、ゆっくりトラクタを前進させます。

補足

外れない場合は、トラクタとドライブハローの左右の傾斜が合っていないか、トラクタがまっすぐ前進していないかのどちらかです。確認してやり直してください。

STARR